



財団法人 広島平和文化センター リーバー・スティーブン理事長の講演後、「平和」についてディスカッションを行う生徒たち

参加し、フォーラムを全体を盛り上げてくれました。本校の生徒の役割は多岐に渡り、5つのテーマのプレゼンターとして活躍したり、また、その他の生徒はフォーラムの運営・企画でリーダーシップを発揮していました。5つのテーマで発表をした本校の生徒の多くは、国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）に在籍している生徒です。IBDPとは、世界水準のカリキュラムで、世界のリーダーへと成長できる生徒を育成するためのプログラムです。日本国内の高等学校でも、英語教育に力を入れ、世界を視野に入れたカリキュラムを導入している本校は、更に国際的に活躍できる人材を育成するため、今回このような世界各国の生徒を招いたフォーラムを開催し、無事成功を収めることができました。2012年には、第2回高校生国際フォーラムを2月頃に開催したいと思います。そして、今年度より更に世界トップクラスの学校から生徒を招待したいと考えています。

世界に目を向けている学校だからこそ、高校生国際フォーラムは、世界中の人々と交流を深めることができる素晴らしいイベントなのです。昨年度開催されたフォーラムは、2010～2011年度の本校の学校行事の中でも大変注目されたイベントでした。フォーラム参加者は、プレゼンテーションやディスカッションを通じて現在社会が直面している問題を理解することができ、また、5日間のフォーラムで出会った素晴らしい友人たちとお互いの友情を深めることもできました。そして、異文化を理解し、国と国との壁を乗り越えて手を取り合い、協力することで、世界情勢や問題に関する考えを深め、様々な問題を解決する糸口を見付けることができたのではないかと思います。



京都文化体験プログラムにて清水寺や金閣寺など京都の文化・歴史について学ぶ生徒たち

Matthew Thomas (マシュー・トーマス)

立命館宇治中学校・高等学校
国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）
IB 教育部 部長 / IB Diploma Coordinator
IBDP 教員



立命館宇治中学校・高等学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町八軒屋谷 33-1

TEL : 0774-41-3000 FAX : 0774-41-3555

HP : www.ritsumeit.ac.jp/ujc E-mail : uji-returnee@ujc.ritsumeit.ac.jp



立命館宇治は、生徒たちにチャンスを与えてくれる学校です。

世界10カ国の高校生を招待して国際的なイベントを主催し、そこで活躍する機会を与えてくれる学校で学べる高校生は本当に幸いです。在校生諸君は、その活動を通して得た経験・友人、そして刺激を勉学の糧として、より一層のチャレンジをして欲しいと思います。

日々の学習に加えて、このような素晴らしいチャンスを与えるための教職員の皆様の努力と熱意に対して、心から賛辞を贈ります！！